

善意の灯

吉井地区自治協議会の活動に役立てて下さいと香典返しを自治協議会に寄付していただきました。大変有難く感謝申し上げます。

三木 成仁 様より、亡母 三木 美重子 様の香典返しとして

ご寄付いただき有難うございます。善意のお気持ちに応えるべく吉井地区自治協議会の今後の活動に役立たせていただきます。

世代間交流グラウンドゴルフ大会が開催されました。

12月4日(土)吉井南小学校グラウンドにおいて開催されました。新型コロナウイルス感染対策をとりながら、小学生から高齢者まで30数名の方々が参加され、師走の肌寒い日でありましたが、ナイスプレイに歓声があがり、心も体も暖まる楽しい時間が過ごせました。参加いただいた皆様、準備等お手伝いいただいた皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。



順位	NO	名前	学年
優勝	1	種本 颯太	4
第2位	2	山元 空	4
第3位	3	西田 志龍	2

順位	NO	名前
優勝	1	向井 弘之
第2位	2	石田 美夫
第3位	3	江口 日出夫

福井公民館前に、花畑出現！！

福井公民館前の荒地だったところを、地元の松本正雄氏が手入れをして立派なコスモス畑へと蘇らせ、地域の人たちの目を楽しませています。同氏は、昨年荒れ地だった場所を借り受け瓦礫を撤去し、トラクターで耕しコスモスの種をまき、整備をしてこられました。今年は夏に向けヒマワリの種をまき一面ひまわり畑に！その後、秋に向けコスモスの種をまいて整備してこられ、10月には見事なコスモス畑が出現し、地元有志で花見会を実施することとなりました。天候が温暖だったことも幸いしたのか、花見会当日には一面コスモスの咲き誇る中ひまわりの花も彩を添え、コロナ禍の中ひと時の安らぎを得ることができました。松本正雄氏は福井洞窟の管理も行っておられ、その行き届いた手入れはご存じの通りだと思います。この地は、福井洞窟から車でわずか5分程度の場所です。ぜひ、福井洞窟を見学に来られた時はちょっと足を延ばして一面の花畑を楽しんでみられてはいかがでしょうか？来年の春は福井公民館の桜を愛でて、夏、秋はヒマワリにコスモスを楽しむ。そんなスポットになっているかと思えます。ご来場者は、くれぐれもマナーを守ってお願いします。



・地域コミュニティとは！・

地域をより良くするために活動する、住民同士のつながりや集まりの事です。

あなたが主役の地域コミュニティ！！

令和3年度第3号(通算39号)

令和4年1月1日発行

自治協議会だより

よしい



〒859-6326
発行 吉井地区自治協議会
佐保市吉井町立石473(吉井地区コミュニティセンター内)
TEL(0956)55-6038 FAX(0956)55-8550
Email y.jichikyo11@tvs12.jp

令和4年1月吉日

新年のご挨拶

吉井地区自治協議会
会長 中尾 静



新年明けましておめでとうございます。

コロナウイルス感染症が落ち着いてきたかと思ったら、別のコロナウイルスが、流行しはじめています。皆様、各地区様々な面において大変不自由なされたことと思います。心よりお見舞い申し上げます。

さて、2021年も終わり新しい2022年が始まりました。年頭に当り色々な夢・希望を胸に願われたと思います。

昨年を振り返れば、牧の地地区の大規模地滑りによる峠・高峰地区の交通問題、公共施設の廃止による再利用の問題、交通危険箇所の点検、大規模集中豪雨による避難箇所・佐々川ハザードマップの作成など、吉井地区自治協議会として多くの諸問題に対応してまいりました。結果が出ている問題、結果が出ていない問題がありますが、近いうちに皆さまに報告させていただきたいと思えます。今年は樋口橋・前岳橋・春明橋の架橋100年を迎えます。吉井地区の石橋群をすべて長崎県の文化財として認定してもらうため申請を行っています。結果が出るのは8月中だと聞き及んでおり、その後に記念式典を開催したいと計画中です。

また、福井洞窟ミュージアムの来館者が当初計画していた人数(年間10,000人)よりもはるかに増えています。これもひとえに地域の皆様のご協力並びに学芸員をはじめ関係者皆様の努力のたまものだと思います。

コロナウイルス感染症が早く収束して、3月から始まりますお橋観音春まつりを皮切りに、吉井地区自治協議会主催行事を元気よく遂行していきたいと考えています。吉井地区皆さまのご協力をさらにお願いたします。

最後になりましたが、コロナウイルス感染症・インフルエンザ等にご注意いただき元気に良いお年をお過ごしくださるようお祈りいたします。



・自治協議会とは！・

地域のことは地域で考え、地域で取り組み、住民が自治をする会です。

「樋口橋など架橋100周年」特集

祝賀行事の実施について

吉井町の中心部にある「樋口橋」と「前岳橋」 および 春明と踊瀬を結ぶ「春明橋」は、いずれも大正11年（1922年）に架けられた石橋で、今年は、めでたく”架橋100周年”を迎えます。

これらの橋は、この地方に多いアーチ型の石橋で、100年もの長い間、地域産業の振興・発展と私たちの暮らしを支えてきました。

このような樋口橋などの架橋100周年を記念して、先人の偉業を讃え、郷土の誇るべき文化財を広く顕彰いたします。そのため、自治協議会では「祝賀行事実行委員会」を組織して準備を進めています。皆様のご理解と、ご協力をお願いいたします。

一 祝賀事業実施の目的

- 1 郷土発展の原点、歴史的・文化的社会資本（インフラ）の存在を広く顕彰する。
- 2 百年の大計をはかり、後世に遺した先人の英断と先見性、その偉業を讃える。
- 3 素晴らしい石橋文化を大切に守り、後世に引き継ぐ。
- 4 社会資本（インフラ）の重要性を、この機会に誰もが深く認識し、感謝して大切にする。
- 5 これらを、大人だけでなく子どもたちにも知ってもらおう。

二 祝賀行事などの内容

- 1 祝賀記念式では、小・中学生による絵画・作文コンクール表彰、記念講演、アトラクションを予定。出席者に記念の印刷物、絵はがき、祝賀紅白餅などの贈呈を計画しています。
- 2 樋口橋、前岳橋、春明橋に、「架橋100周年」をお知らせする「看板・幟り旗」を立て、樋口橋は夜間のライトアップと、歩道欄干に横幕を計画しています。（いずれも一定期間だけ）
- 3 写真や年表の展示も予定しています。

三 経 費

- 1 祝賀行事を実施するための経費は、およそ120万円程度を予定しています。
- 2 自治協議会支出金、佐世保市補助金、振興クラブ（異業種交流の地域おこし親睦団体会員数34名）寄付金、及びその他の企業・団体、有志からの寄付金を予定しています。寄付をくださった方には お礼を差し上げます。皆様のご協力をお願い致します。

「樋口橋など架橋100周年」祝賀

小・中学生による絵画・作文コンクール 入選者 (敬称 略)

【絵画の部】 (テーマ 生まれ育った我が町の”ふるさと自慢”)

吉井南小学校	4年	優秀賞	金子 叶夢	入選	前田 悠翔	入選	宮下 真実
	5年	優秀賞	北村 美怜	入選	下濱 藍	入選	馬場 一華
	6年	優秀賞	平野 陽菜	入選	川端 くるみ	入選	北浦 結依
吉井北小学校	4年	優秀賞	七種 望央	入選	穠山 真里奈	入選	種本 創
	5年	優秀賞	中川 未央	入選	吉田 佳那美	入選	馬場 茜
	6年	優秀賞	山口 凜歌	入選	山本 二胡	入選	木寺 春翔
吉井中学校	優秀賞	松尾 みづき (2年)	入選	古賀 維奈 (1年)	入選	吉田 彩有里 (1年)	

【作文の部】 (テーマ 生まれ育った我が町の”ふるさと自慢”)

吉井中学校	優秀賞	3年	松永 恋羽音	入選	1年	福田 悠大	入選	2年	松永 悠菜
-------	-----	----	--------	----	----	-------	----	----	-------

※ 絵画の入選作品は、祝賀記念式典や文化祭などの会場に展示する予定です。
作文の入選作品は、文集を作って発表する予定です。

四 架橋100周年を迎える3橋



「樋口橋」(橋長36.0m 橋巾6.3m)
皇居の二重橋あるいは日本橋を模したといわれる2連のアーチ橋で、県下では僅か5基しかない珍しい橋の一つです。しかも、人だけでなく自動車も通れる橋として今も使われているのは この橋だけです。そして 一番長く、幅も広い石橋です。

はじめの計画では4.5mとした橋の幅を、将来を見すえて6.3mに変更して建設されたもので、当時の

石田文三郎村長や議員さんなど、村の政治をなされた皆さんの英断と、すぐれた先見性は敬服のほかありません。昭和42年7月9日、朝から時間雨量100ミリを超過豪雨大災害によって大理石造りの優雅な欄干は流されましたが、橋本体に異状はありませんでした。平成3年、町制施行40周年の記念事業として欄干や親柱などの修景事業を長崎県と吉井町が分担して行い、今に至っています。

現在、佐世保市の有形文化財に指定されていますが、これを長崎県指定の文化財に昇格するようお願いしています。

「前岳橋」(橋長20.5m 橋巾4.0m)

福井川をまたぐ立石と前岳を結ぶ橋で、校門橋と共に小・中学校へ通う重要な橋です。近くには北部商工会、吉井地区コミュニティセンター、福井洞窟ミュージアムがあり、以前は、町の公民館、保健センター、老人憩いの家、教育文化施設・ひまわりの館があり、夏祭りやイチゴ・メロン祭りの会場となった広場もありました。

この橋は平成14年度までに拡幅改良工事が行われ、下流側に車道と歩道橋が建設されました。現在は、近くに消防団詰所があり、主要地方道・佐世保—吉井—松浦線大渡バイパスの高架道路が、真上を国道204号線に向かって走っています。



「春明橋」(橋長18.6m 橋巾4.3m)

県道・栗木—吉井線から分岐して踊瀬から春明に通じ、三叉路を東へは御橋を経て 世知原町・岩谷口へ、西に向かって御橋観音参道を経て前岳に至ります。昔は近くに国鉄世知原線御橋観音駅があって、御橋観音への参道の一部でもありました。また、橋を渡った近くには架橋記念碑と馬頭観音を祀った祠があり、山田洋次監督、渥美清主演の映画、「男はつらいよ」のロケ現場にもなりました。現在この橋は、幅が狭いことと袂で直角にカーブしていることもあって、安全確保のため、近くに別ルートの橋が造られましたので、歩行者専用の道路になっています。

五 架橋当時の村三役、議員 (敬称 略)

村長・石田文三郎、 助役・井手 助市、 収入役・山口 藤造、
議員 法師山儀市、 福田 仙重、 青木為三郎、 加勢田宗之丞、 深江貞之助、 佐川勘三郎、
辻 原吾、 松園 重吉、 吉村熊太郎、 佐藤 初治、 土肥熊太郎、 村川 逸三